

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

令和5年度 神戸大学工学部第3年次編入学試験

令和4年8月18日 実施

試験問題 「小論文（機械工学科）」

注意事項：

1. 試験中は、試験監督の指示に従うこと。
従わない場合は、不正行為と見なす場合があります。
2. 解答開始の合図があるまで、試験問題を開かないこと。
3. 「受験者心得」で持ち込みが認められたもの以外は、机の上に置かず、カバンの中にしまうこと。
4. 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類を時計として使用することはできませんので、これらを持っている場合は、電源を切ってから、カバンの中にしまうこと。
5. カバンなどの持ち物は、椅子の下に置くこと。
6. 答えは、黒鉛筆またはシャープペンシルで解答すること。
7. 答えは、別紙の解答用紙に解答すること。（大問ごとに、解答用紙が分かれています）
8. 試験時間中に質問等がある場合は、手を挙げて試験監督に申し出ること。
9. 試験途中の退室は認めません。
ただし、トイレに行きたい場合や気分が悪くなった場合は、手を挙げて試験監督に申し出てください。
10. 解答開始の合図の後、まず、問題・解答・下書用紙全てに、受験番号、氏名を記入すること。
11. 配布した用紙（問題・解答・下書用紙）は、試験時間終了後にすべて回収します。持ち帰ることはできないので、注意すること。

2023年度 神戸大学工学部編入学試験
機械工学科 小論文問題

問題1、2はそれぞれ別の答案用紙に解答すること。

問題1

現在、関西万博等を見越して「空飛ぶクルマ」の開発が進められているが、多くはドローンを発展させた自動・手動、あるいは遠隔操作の有人マルチコプターである。「空飛ぶクルマ」を実現するための技術的課題を述べるとともに、日本において「空飛ぶクルマ」を実用化する上で必要な社会的コンセンサス（合意事項）を説明して、我が国における「空飛ぶクルマ」のビジネスとしての成立性を議論しなさい。

問題2

科学技術は人類の繁栄をもたらすと同時に、平和を脅かす危険性もはらんでいる。科学者自身はその危険性を絶えず自覚し、反省して研究・開発をすることが大切である。また単純に戦争を回避することだけにとどまらず、科学技術によってもたらされる新たな平和問題（環境問題など）も課題である。機械工学科を志望したあなたが、「平和維持」の観点から、機械系の技術者・研究者として注意すべきと思う点について、具体例を交えた上で自由に論じなさい。